



日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

2011.12.8. NO. 1025.

ご相談はお気軽に
TEL とも 3905-0970
FAX とも 3905-0970

さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>

介護職員が希望をもって働きつづけられ、 利用者がよりよい介護が受けられるように

陳情と全会一致で採択し 国に「意見書」を提出しました。

◎健康福祉委員会(のの山議員が副委員長)で、私は、へいパーさんの働きぶりを紹介するとともに、北区の「介護アンケート」、「全高齢者実態調査」の中申まとめなどの資料をもとに、「介護職員の処遇改善は待たなし。安心してよりよい介護サービスを受けられるようにするために、陳情はぜひ、採択すべき」と主張しました。

◎採決では、「主旨採択」と主張する会派が多かったため、委員会としては「主旨」となりましたが、国への意見として、「処遇改善交付金を廃止せず、2012年4月以降も引き続き継続すること強く求める」と、陳情者の思いをしっかりと伝えることができました。

内部被ばくから子どもを守るため、給食食材の検査を
求める陳情は、3件、数項目でしたが、半分は自公民などの反対で否決。

初5回 桐ヶ丘バザーへの ご協力、ありがとうございました。

◎前日は激しい雨と寒さで心配しましたが、4日の日曜日は青空が広がって、気持ちのいいバザー日和。三宅島から届いたカサランカや青むらアジのすり身も好評でした。南相馬の出身の方が、スマイルを大切にいかせて帰ってゆかれました。



◎収益の一部を北社協の年暮金として使わせていただきました。

12月15日までに申し込み受付 北区の助成をうけて 住宅のリフォームができます→

◎工事費用の20% (10万円限度)
※10万円以上の修繕工事です。
ただ今、12月分の受付とじています。
工事着手の前に申請して下さい。

<受付> 3908-9201
北区まちづくり部住宅課
「北区居住あんしん修繕支援」といっしょ

収納・建具

押し入れをクローゼットに変更。デッドスペースの活用。リビング収納、家具、吊り戸棚



外まわり

屋根の葺き替え、外壁の張り替え、複層ガラスや出窓にしたい。フェンス、門扉、ドア、樋を直したい



造園・エクステリア

庭づくり・手入れ、外構をキレイにしたい。カーポート、テラス、ウッドデッキ、ガーデンルーム



左官・塗装・看板

内装、外まわりの塗り替え、吹きつけ、防水工事、各種店舗の看板・テント・シート



内装・リフォーム

壁、天井、床・タイル・石の張り替え、床暖房、電気工事、照明、インテリア



畳・ふすま・障子

新調、交換など



水まわり

水道、下水、給湯器、蛇口、キッチン、バス、トイレ、洗面室を新しくしたい。キレイにしたい



増改築

老朽化の対策、収納改善、二世帯対応、使い勝手向上、間取りや和・洋室の変更など



建物サービス

シロアリ、害虫対策、防犯鍵のとりつけ、ハウスクリーニング、貯水槽清掃、エアコンのとりつけ



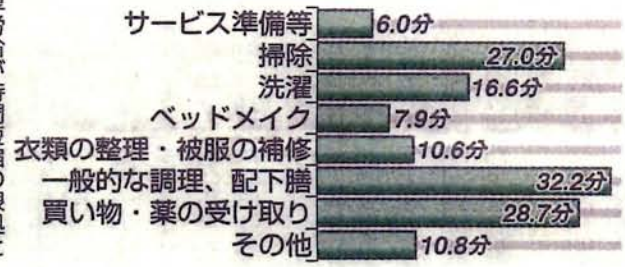
その他・建物に関する事

設計、資金、建築法規、構造・耐震相談、敷地の測量など



...リフォームの内容について... ◎このご案内は、東京土建北支部のチラシと活用させていただきます。

60分未満を
45分未満に



厚労省が示した
「根拠のない計測」
「洗って干して16.6分
では、終わりません！」

厚労省が時間短縮の根拠として
している生活援助の行為ごとの平均サービス提供時間
(株式会社EHP「訪問サービス」
における提供体制に関する調査研究事業から)

ヘルパー時間短縮やめよ

参院委 田村氏、ずさん調査批判



質問する田村智子議員1日、参院厚生労働委員会

日本共産党の田村智子議員は1日の参院厚生労働委員会で、厚労省が来年度の介護報酬改定にむけ、ホームヘルパーの生活援助の基準時間を60分から45分に短縮しようとしている問題をとりあげまし

た。厚労省は時間短縮の根拠として、洗濯、掃除など行為別の提供時間の調査結果を示しています。

田村氏は、厚労省の調査では洗濯16分となっているが「洗濯機が回っているうちに洗濯物を干すのか」との怒りの声が上がっていることを指摘。いったいどんな調査をもとに時間短縮を提案したのかとただしました。

厚労省の宮島俊彦老健局長は「3月の訪問介護について5月に都道府県に調査依頼した」と答えたため田村氏は、「ホームヘルパーは、洗濯を何分やったかなどの記録などしていない。2カ月前のことを正確に答えられるのか」と指摘。小宮山洋子厚生労働相は、「調査の方法が適切であるかはチェックしたい」と答えました。

田村氏は、全国社会福祉協議会の調査でも「家事援助は個別性が大きい」と、標準時間を示すのは困難とされていることをあげ、根拠としないと批判しました。生活援助時間の短縮は「利用者と会話するゆとりもなくなる」と、批判の声が上がっていることを示し、撤回する以外にないと強調。小宮山厚生労働相は、「調査のありかたや関係者の要望をうかがいながら結論をだす」と答えました。



田村智子議員の質問を傍聴する人たち1日、参院厚生労働委員会

介護保険の生活援助の基本的提供時間の短縮に反対する「要介護者の暮らしを考える会」(櫻井和代代表世話人)は1日、短縮案の撤回を求め、全国社会福祉協議会や、日本共産党など各党に要請し、共産党の田村智子参院議員の質問を傍聴しました。

短縮案は、現在「30分以上60分未満」の基本的提供時間を「45分未満」にするもの。参院厚生労働委員会で田村議員は「洗濯機が回っているうちに洗濯物を干すのか」と、現場から怒りの声が上がっている」と短縮の矛盾を追及。ヘルパーらでつくる同会の人たちは大きくうなずき、「一問一答を食い入るように見つめました。終了後「よく勉強している」「分かりやすかったです」と口々に語りま

した。櫻井代表世話人は「田村さんが時間短縮の根拠となった調査のいい加減さを追及したのにたいし、小宮山厚生労働相は「調査の方法が適切かチェックしたい」と答弁しました。そう言った以上、必ず結果を示してほしい。そして短縮案は撤回するべきです」と話していました。

要請・傍聴 ヘルパーさん真剣

「しんぶん 新南赤旗」が、ずさんな調査を指摘

政府・厚生労働省は、介護給付費削減のために、来年度の介護報酬改定でホームヘルパーが行う生活援助(調理、掃除、洗濯、買い物など)の基本的な提供時間(現行30分以上60分未満)を45分未満に短縮しようとしています。しかし、根拠とされた調査は提供時間の実態を調べるのが目的でないうえ、計測もなぐ、記録にもとづかないずさんなものであることが本紙入手の資料で明らかになりました。

2011年12月1日参議院で
田村智子議員が
政府を追及しました。